

2021年7月16日(金) 第2842回例会 形式:対面 天候:はれ 合唱:奉仕の理想

会長 室伏学 幹事 望月博文

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内 TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716
例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶
室伏学

7月3日の大雨は各地に土砂崩れ等を引き起こし、未だに大きな爪痕を残しております。特に伊豆山の土砂災害で被災された方々には、あらためまして、お悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、大量の土砂や瓦礫に阻まれた中での捜索や復旧に向けた活動には頭の下がる思いでございます。第2780地区としても1人1,000円以上を目途に熱海への義援金を集めることになっております。近隣の当クラブは倍額の2,000円を本日集金いたしますので、ご協力をお願いいたします。

さて、本日は7月30日のガバナー公式訪問の2週間前、ガバナー補佐訪問でございます。木村隆也ガバナー補佐、ようこそお越しくださいました。木村ガバナー補佐は、望月幹事が第55代会長を、私が1回目の幹事を務めた2016~17年度に、小田原ロータリークラブの会長をお務めになりました。5年前当時は感染症の恐れもなく、エレクト会を含めると1年半に及ぶ会長幹事会では、頻りに懇親会が開催され、何度も同席させていただきました。また、その年度の当クラブ55周年記念例会では、ご来賓のスポンサークラブ会長として、ご挨拶もしてくださいました。また、このまま順当にいけば、来年3月25日の当クラブ60周年記念行事にはご来賓としてお招きすることになります。本当にご縁のある方だと思い、勝手に親近感を抱いております。

また、ガバナー公式訪問に向けて、昨年度ご入会の丸塚順子会員、石川浩子会員、常盤孝司会員のお三方に、ガバナーへの「質問事項」を考えていただき、既に木村ガバナー補佐にご提出しております。ご協力に感謝申し上げます。

出席報告

会員	24名	出席率	90.31%
欠席	5名	前回の修正出席率	86.96%
(免除者)	1名	前々回の修正出席率	90.91%
ゲスト	0名	事前メイクアップ	0名
ビジター	3名		

ビジター
第9グループガバナー補佐 木村 隆也君(小田原RC)
山下 憲男君(東京お茶の水RC)
中野 博行君(東京お茶の水RC)

幹事報告

ガバナーより
クラブフューチャービジョンセミナー開催のご案内
開催日時: 8月21日(土) 13時~17時30分
受付開始:12時30分 開会:13時00分 閉会:17時30分
開催場所: 相澤ビル 3階・5階・6階・8階(受付 8階)
(住所:神奈川県藤沢市南藤沢 22-7)
講師:アックインテリジェンス(株)代表取締役 小針憲一氏
出席対象者:クラブ会長、もしくは会長が指名する戦略計画立案担当者、または会長エレクト
開催方法:会長、もしくは会長が指名する1名の方は対面をお願いいたします。その他の方は新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、後日あらためてご案内差し上げます。

連絡事項

次週は祝日休会、30日はガバナー公式訪問です。皆様出来るだけ出席くださいますようお願いいたします。

スマイル Box 7/16~7/29

国際ロータリー2780地区第9グループガバナー補佐 木村隆也君(小田原RC):湯河原ロータリークラブの皆様新年度をお迎えし本当におめでとうでございます。本日はよろしくお願ひ致します。

山下憲男君(東京お茶の水RC):2回目のメイキャップです。神谷様にはお世話になっております。

室伏学君・望月博文君:木村隆也ガバナー補佐ようこそお越しくださいました。

伊藤伸之君:木村ガバナー補佐御指導宜しくおねがいします。

神谷一博君:本日は木村ガバナー補佐様、湯河原RCにお越しいただきましてありがとうございます。ご指導よろしくお願ひ致します。

神谷一博君:本日は、東京お茶の水RCからお越しの山下様、中野様ようこそ湯河原RCへ、ありがとうございます。

青木義美君:オリンピックボート決勝の入場券紙くずとなりました。

小倉高代君:7月2日に電車が不通になり、ミンフィ君とみなさんで出かけてましたが、青木さんが多賀まで息子を迎えにみなさんと一緒に行ってくださいって本当に助かりました。4つのテスト「みんなのためになるかどうか」の神髄に触れたひと時でした。青木さん、室伏会長、神谷さん。有難うございました。

(会員誕生日、一部「スマイル」は次号以降に掲載します)



湯河原 RC の皆様、こんにちは。本年度第9グループガバナー補佐、小田原 RC の木村でございます。本題の前に、熱海で発生しました土砂災害についてお見舞い申し上げます。当地区は被災地に隣接する地区ということで、早急に義援金を集めて送ろうと考えております。湯河原 RC でもお1人あたり目安額の2倍を集められているとのこと、ありがたく思っております。

改めまして本日は、来たる7月30日のガバナー公式訪問の前段として、本年度地区活動方針を紹介して参ります。

1. 2021-22 シェカール・メータ RI 会長

メータ会長はインド西ベンガル州カルカッタマハナガル RC 所属、ロータリー歴 37 年のベテランで、お仕事は自身が設立した不動産開発会社「Skyline Group」の会長、会計士でもあります。会長は RI の標語「超我の奉仕 (Service above Self)」に感銘を受け、以来、奉仕＝自分よりも他の人のことを先に考えることの大切さや、身の回りだけでなく人類全体に目を向けるようになったということです。特に私が感銘を受けたのは「奉仕とは、自分が地上に占める空間に対して支払う家賃である、という信条を持つようになった」という言葉です。2021-22 年度のテーマは「**奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために (SERVE TO CHANGE LIVES)**」です。

2. 2021-22 第 2780 地区 田島 透 ガバナー

続きまして我ら、第 2780 地区のガバナーを紹介いたします。田島透ガバナーはふじさわ湘南 RC 所属、2000 年にチャーターメンバーとして入会されました。職業分類は建設資材販売、職業は(株)藤和建商 代表取締役、趣味はマンドリン演奏、最終学歴は東京理科大学大学院理工学研究科修了です。田島ガバナーのロータリーに対する情熱は並外れており、その最たるものがポリオに関する活動です。ガバナーは自分の目と耳で確認しながら奉仕を実践することを大切にされており、ポリオに関してもインドに何度も足を運ばれてきました。

3. 2021-22 年度 RI 優先活動項目

続いて本年度の RI 優先活動項目をご説明いたします。

- (1) 会員の増強: 120 万人から 130 万人へ・・・RI が今後も世界にインパクトをもたらすために、より多くの仲間が必要です。今期は 120 万人台で横ばい状態となっている会員数を 130 万人に増やすべく、会員一人一人が「まずは一人の会員を入会させる (Each One, Bring One)」ことを目標とします。
- (2) 女子のエンパワメントに焦点を当てる・・・世界には女子という理由で差別や不利益を受ける、与えられるべき機会が与えられない状況が存在しています。今期は「女子のエンパワ

メント」に焦点を当て、「多様性」「公平さ」「開放性」を責務とする私達ロータリアンがその改善に立ち上がります。田島 G もこの点に熱心で、本年度 AG10 名のうち 4 名が女性です。

(3) ロータリー奉仕デーの実践・・・RI 会長はすべてのクラブに実践的かつ行動志向のロータリー奉仕デーイベントの実行と、その活動から地域の人々にロータリーを知ってもらうことを求めています。当地区でどのような活動を行うかは、公式訪問時に田島 G からもお話があると思われれます。

(4) ポリオの完全根絶に向けて・・・30 年以上のポリオ根絶活動によって、昨年 10 月、ついにアフリカから野生種のポリオの根絶宣言がなされました。残るは中東 2 カ国などごく一部の地域のみですが、引き続き完全根絶に向けて寄付活動を継続していきたいと考えています。

(5) 7 番目の重点分野「環境保全」を追加・・・これまでの 6 つの重点分野「平和と紛争予防・解決」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基礎教育と識字率向上」「経済開発と地域開発」に加え、今年度「環境保全」が追加されました。

4. 地区活動方針: ポリオ根絶と会員増強

(Do more EndPolio, Grow more Membership)

先述の通り、田島ガバナーはポリオ根絶活動を中心に据えることをお考えです。それと共に、奉仕のよりよい実践のために、会員基盤の拡大も目指しています。今年度は RI 会長の方針とも共鳴して、より積極的に活動して参ります。

5. 地区方針 4 つの柱

一昨年の地区大会にて採択されました地区ビジョン「**私たちは、地域社会の変化とニーズをとらえ、地域社会にインパクトをもたらす、多様な人々との出会いとつながりを活かして、良い奉仕を実践するために行動します**」ですが、今年度はその実現を目指すべく「4 つの柱」を設定しています。

(1) 地域社会の変化とニーズを捉える・・・本年は 8 月 21 日に「クラブフューチャービジョン会議」が開催されます。またデジタル化の推進 (例: マイロータリーへの登録と活用) を通し、例会や会合におけるバーチャル技術の活用 (ハイブリッド例会の開催) を支援、奨励していきます。

(2) 地域社会にインパクトをもたらす・・・「世界ポリオデー」では「ポリオ・コロナ祈願祭」の実施などが検討されています。

(3) 多様な人々との出会いとつながり・・・地域で活動するより多くの人たちとのネットワークを築くため、①若い人たちへの積極的支援 ②将来のリーダーの発掘、育成 を意識した活動が重要です。これはロータリーがもっとも得意とする項目であると考えています。RI では次年度よりローターアクト (RA) が正式にロータリーのメンバーに昇格し、本年度より財団補助金申請のセミナーにも参加出来るようになっていきます。インターアクト (IA) も含め、彼らと積極的に関わることが重要です。

(4) 積極的に行動します・・・先述の「ロータリー奉仕デー (昨年までの IM)」では、地域社会により大きなインパクトを残す奉仕プロジェクトの実施を検討しています。また一昨年度から継続されています「1 クラブ 1 奉仕事業」、ロータリー会長賞への挑戦、ヒューストン国際大会への参加も考えていきたいと思います。

本日はありがとうございました。

(編集 7 月会報担当: 佐藤友彦 / クラブ会報委員会)